

平成29年度



赤木小だより

平成30年2月14日 No.33 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』
あ 明るいあいさつをする子ども
か 考えをもって学び合う子ども
ぎ 気持ちよく運動する子ども

2018年度から英語の時数、6校時の日が増えます！

2020年度の新学習指導要領の完全実施に伴い、来年度、つまり2018年度から「つながぎ」の移行期に入ります。

新学習指導要領の主なポイントは「言語能力の確実な育成」「理数教育・道徳教育・外国語教育（英語）の充実」「体験活動の充実」です。

とりわけ、子どもが主体的・対話的・協働的な授業をとおして、深い学びを実現するアクティブ・ラーニングの推進、道徳的価値を自分のこととして多面的・多角的に深く考えたり議論したりする特別な教科としての道徳の位置付け、小学校の中学年から英語を充実させるための時間の確保などが学校の創意工夫に委されております。

赤木小学校では、これまで積極的に深い学びを実現させるため、アクティブ・ラーニングを推進してきました。

また教科道徳につなげるための道徳の授業にも力を注いできました。さらに来年度は、中学年から英語の時数を増やし、英語活動を充実させながら、英語に親しむ心・異文化を理解する心を育てるとともに、英語によるコミュニケーション能力や表現力を高めていきたいと考えております。具体的には、中学年の英語の授業時数が20時間から35時間、高学年の英語の時数が35時間から70時間に増えます。

これを現在の日課表で行うためには、総合学習の時数を減らしたり、国語や算数で多くとっていた時数を減らしたりする方法がありますが、子どもたちの学びを充実させる上で必要な時数であり削減はしないようにしました。

したがって、中学年以上は6校時の日が学期によってまたは年間を通して増えることになりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



アクティブ・ラーニング

学力テスト週間に入りました！国語と算数です！

インフルエンザによる欠席者も少なくなり、また学級閉鎖の学級もなくなり、今週は学力テストを行っております。テストに臨む子どもたちの態度が実に素晴らしかったです。

国語ではこれまで鍛えてきた読む力を十分発揮しながら、文章の要旨をつかみ、じっくり問題に取り組んでおりました。算数では、既習を生かす力を発揮しながら、発展問題や応用問題へ挑戦しておりました。



聴く、読む、じっくり考える

なわとび記録会！「継続は力なり」「団結力が肝腎」！

なわとび記録会週間に入りました。学年ごとの持久跳びや種目跳び、全員参加の長縄跳びに、この1カ月間熱中してきました。子どもたちのなわとびの技能は格段に進歩しています。継続は力なりですね。自己目標を達成した子どもたちが多いようです。また朝の時間から長縄跳びの練習に励んでいる学級も多く学級で決めた目標を達成し喜び合う姿が見られました。



応援、励まし、かけ声が響き渡っている



4・5年生スケート教室

4・5年生のスケート教室が熱海アイスアリーナで開催されました。スケートの楽しさ難しさを味わった1日でした。

